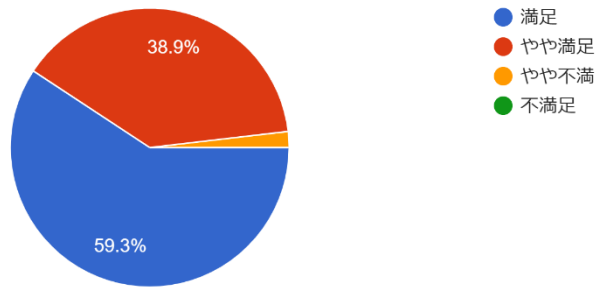


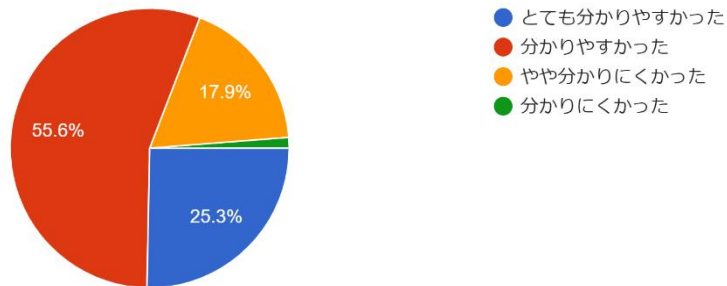
ソーシャルワーカーデー2021 in ぐんまアンケート集計結果 (2021. 7. 31)

I ソーシャルワーカーデー2021 in ぐんまについてお聞きます

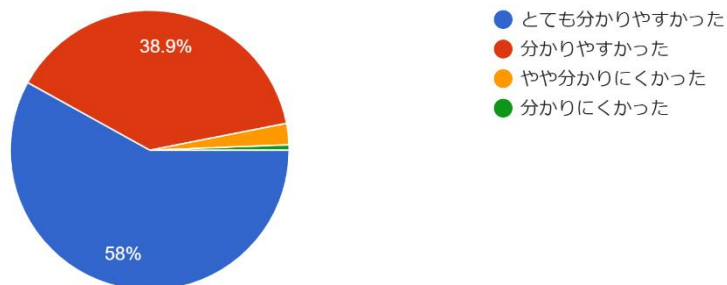
1. ソーシャルワーカーデー2021 in ぐんまに参加していかがでしたか。満足度をお答えください。
162 件の回答



2. 井上先生の講義内容はいかがでしたか
162 件の回答

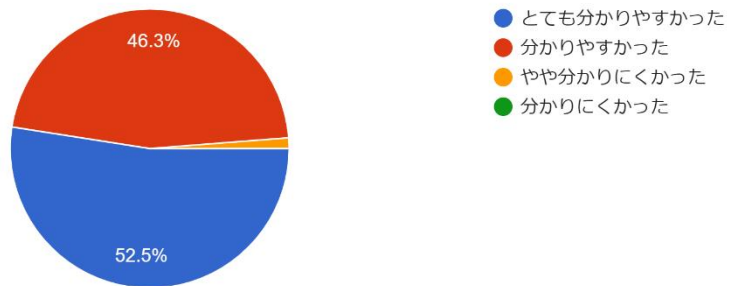


3. 板橋先生の講義内容はいかがでしたか
162 件の回答



4. 各団体からの実践報告についてはいかがでしたか

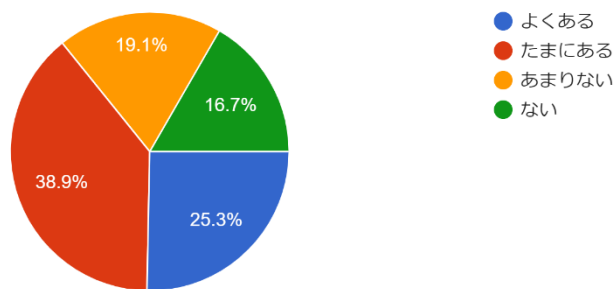
162 件の回答



II 身元保証問題についてお聞きます

1. 所属する事業所等で、身元保証問題に対応したことがありますか

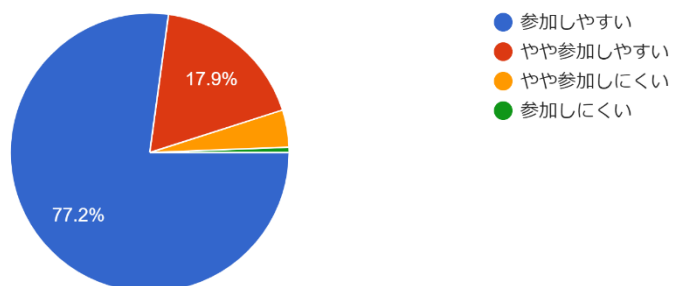
162 件の回答



III オンライン研修についてお聞きます

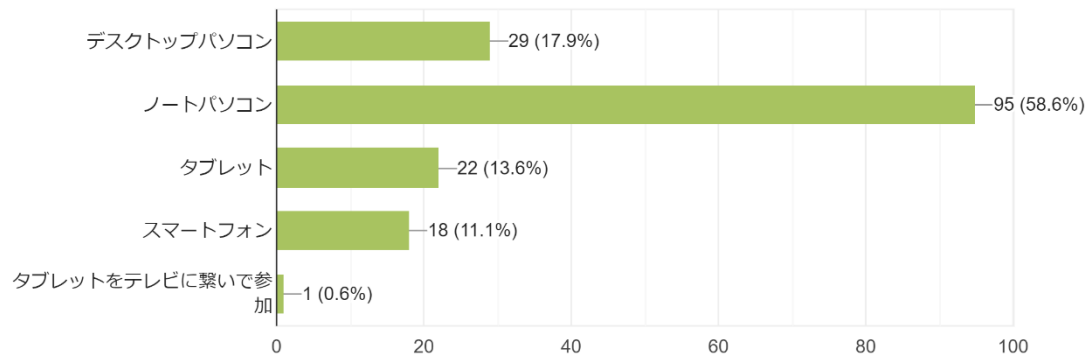
1. オンライン研修への参加のしやすさについてはいかがですか

162 件の回答



2. 今回のオンライン研修に参加した「端末」を教えてください。

162件の回答



※自由記載欄については以下に掲載します。

なお、ご記入いただいた文章を「そのまま」掲載させていただいておりますので、予めご承知おきください。

【I-2-2 井上先生の講義についてのご感想・ご質問等をご記入ください】

- 新鮮だった
- 少し難しかった。
- 知識不足で難しく感じました
- 難しい内容でしたが、社会福祉士の業務独占に高めていきたいと思います。
- 内容的に少し難しい部分が多かったように感じました。
- 人権についてのお話を聞き、改めて深く考えるきっかけとなりました。ありがとうございました。
- 普段見返すことの少ない人権の基本的な部分を学べてよかったです。
- 人権について改めて考えさせられました。
- 社会福祉士は名称独占であっても、職責が重く、倫理綱領に載っているようなこと以上の高みを目指して行くことが必要だとわかりました。
- 難しかったです。
- 人権について深掘りをする機会を得ました。その必要性を大いに感じました。
- 人権について世の中が努力で改善してきたとわかりました。たとえば障害児のおりのお話など
- 法的な深い部分のお話で理解が少し難しいところがあったが、大変刺激的でした。振り返って良く理解できるようにしたいと思います。
- 感想です。ソーシャルワーカーは、専門職として福祉の業務をこなして多様な人々を支援する以前に、誰もが保有しており自由が尊重される人権の担い手として機能していくことの必要性を感じました。自分はまだ学生の身ではありますが、ソーシャルワーカーになるうえでの日々の学習の中で、井上先生のおっしゃたことを頭の中において、これからは技術や知識のみならず人権やソーシャルワークの基盤についても改めて理解を深め行こうと思います。
- 先生方のお話を聞き、私たちの実践、目の前の事象への対応について、法的根拠をしっかりと認識すること、日常的に法律の専門家の方との相談ができることが必要だと感じました。また、自治体の見解、社会資源の違いもあり、多職種を交え、地域に根差した事例検討会などで、法的な根拠をふまえた、具体的で実践可能な対応を話し合っていく仕組みが重要だと感じました。
- 諸外国、先進的に取り組まれている自治体があるというお話がありましたが、そのことについて教えていただければと思いました。”
- 職場で民主的に議論する大切さ、対等な立場で議論する大切さを教えていただき有難く思っています。社会保障を人権として捉える、相模原の問題は、植松氏個人の問題だけでなく、障がい者施設の貧困の問題なのだという指摘は、自分もそう思っていた故に

胸がスーっとしました。人権保障は、国、自治体の義務であることなど、制度として本人の自己決定ができることを追求していくこと、本人の最善の利益をつくるシステムを法的制度としてつくることが、ソーシャルワーカーの社会的使命であることなど、憲法の理念を具体化していく大切さを学びました。

- もっとお聞きしたかったです
- 久しぶりに硬派な SW 論を聞いてよかった。実行員会に天晴れです。
- 大変勉強になりました
- 相模原の事件について、本人だけの生い立ちや環境の問題と捉えていました。上司や同僚は間違った考え方について気がつかなかったのでしょうか？など、第三者の責任も重要だと気づきました。
- 大変貴重な講義でした。ありがとうございました。
- 大変貴重な講義でした。ありがとうございました。
- 日本高齢者人権宣言は大事だと思います。高齢者関係の問題のご相談を、日本高齢期運動サポートセンターで受けていただけるのでしょうか。
- 専門的なお話で自分には難しかったです。
- 今まで、「人権」としてとらえるという認識がなく、ある意味目から鱗の状態でした。タイムリーに「やまゆり園」のことが話にあり、すごく腑に落ちたという気持ちになりました。日本人の人権への意識の低さや団体としての謙虚さが、利用者の為にはならず、自分たちの人権も保障されるべきものだということもわかりました。ありがとうございました。
- 間に合わず受講していません。よって、上記の回答も無効だと思います。
- 感想：自分たちの仕事は憲法における人権保障を具体化するための職種であるということ再認識することができた。また明日から頑張ろうと思った。
- 私たちの援助の土台となる人権について再考する機会となり、とても有益だった。人権という視点について、身元保証に課題のある方に特化した部分についても井上先生からお話を聞いてみたかった。

【I-3-2 板橋先生の講義についてのご感想・ご質問等をご記入ください】

- できないことの話が多かった
- もっと聞きたい
- 参考になりました。
- 非常にわかりやすく、今後の業務にも生かせそうです。
- 支援していく中で身元保証会社をお願いすることが多く、今後気を付けなければなら
ばいと感じた。
- 実践的であり、本音の部分でお話をいただける場面もあり勉強になりました。
- 後見人制度と身元保証人の違いや出来ることできない事などについて分かりました。
ありがとうございました。
- 後見人の仕事の範囲について自己の理解とともに関わる専門職への適切な説明や理解
の拡充を図っていきたいと思いました。
- 解決策などの提案等もお話し頂けると良いと思いました。
- 成年後見申し立て（候補者なし）検討中に、医療機関から入院費を納めて欲しいと言わ
れました。民生委員を代理人として、本人の手を添えるように委任状に記載し、お金を
おろしました。有効な行為ではないと承知しておりましたが、実行しました。この場合、
どの様な支援ををすれば良いのか教えていただけると助かります。医療機関からは、後
見人が就いてからの支払いはできないと言われました。
- 急性期病院で入院期間が短い中、成年後見人制度の手続きまではできても利用までは
たどりつかないため、むずかしさを感じる（感想です）
- 後見人が身元引受人になれないのは「支払いできないから」納得しました。
- 後見人の方ができること、できないこと、グレーな部分を把握することが必要であると
感じました。また、支援者としてクライアントと関わりますが、一度クライアント側も
気持ちになって制度の利用などを考えていくことが必要なのではないかと思います。
- わかりやすい講義ありがとうございました。日頃より善意で行っている支援が権利擁
護侵害になっていると仰っていただきありがとうございます。「良かれ」が横行してい
ることもあり、SWの正義という担保の元に暴走していることも散見されます。
- 質問です。身元サポート事業は私文書（契約書）と公正証書契約とどちらで契約してい
るのでしょうか。またはどちらが主流なのでしょうか。
- 先生と連携をさせていただいていますが、知識だけではない先生の人柄が前提でこち
らに入りやすくなっていることを感じました。ありがたい弁護士先生で感謝申し上げ
ます。
- 法律の関係者がいらっしゃって心強く感じました
- 具体的でSWへの警鐘もいただき、私も常々感じていたところをはっきり言っていただ
いてありがたかったです。
- 感想です。身元保証問題に対して、ソーシャルワーカーの方々や板橋先生のような司法の
方面の方々の違った立場からの捉え方の違いや、注意すべき事項の数々について、とて
も勉強になりました。身元保証人のことに関して、勉強する中でも理解が難しくとっか

かりにくい内容だったのですが、先生が聞いてきた専門職を含め身元保証人である皆様の本音や、こうしてほしいという具体的な事項についてわかりやすい言葉を用いて説明してくださったため、学生の身でも理解しやすくとてもためになりました。

- 法的根拠を意識した実践について、地域で日常的に話し合っていくしくみが必要だと感じました。もし今後、そのような場を作る場合、板橋先生をはじめ、県内の弁護士の方に協力をお願いすることは可能でしょうか？
- 自治体や社協などが中心となって身元保障人を代替する仕組みを作り上げていくことが、必要とされているという案に大いに共感しました。利用者様で親族に頼りたくないという方がいたり、私自身一人っ子なので、高齢になって従姉妹家族に迷惑をかけたくないからです。とても勉強になりました！
- 民間の後見団体の利用は慎重にしなければトラブル、責任問題になりかねないという話でとても恐怖心をあおられた感じでした。慎重にしなければ、ということは分かりましたが、もっと具体的にトラブルを避けるためにどうしたらいいか、即日に任意後見が必要な場合のおすすめの方法、時間がないときにどうしたらいいか、など…もっと突っ込んだことが聞きたかったです。
- 医療、福祉関係者に人権意識が低いと気付かされました。
- とてもためになります
- 法律についての必要最低限の理解を持つことの重要性を感じさせられる。
- 大変勉強になりました。
- “本人の意思確認をしなければならない場面に直面することが多々あります。
- 今後は、自治体や社協、SWに相談していきたいと思います。”
- 具体的な例で、大変わかりやすかったです。またよろしくお願いします。
- 申立て人の手間と費用に対して、メリットがない。親亡き後の障害者等の為と違い、高齢者の疎遠になっている親族に申立てをしてもらえない事。市町村は市町村申立てに消極的で困る。
- 具体的な例で、大変わかりやすかったです。またよろしくお願いします。
- 東毛地区以外の高齢者・障害者の身元補償問題をご相談するには、群馬弁護士会 高齢者・障害者支援センター と認知症予防&サポート研究所アングルとではどちらがよろしいでしょうか。
- 事例にもありましたが、家族と疎遠で預貯金がなくて年金収入があるため生活保護にもならない方の金銭管理や身元保証について怪しいとはわかっているけども、民間の身元保証サービスなどを利用することがあります。成年後見制度は最低どのくらいお金があったら対応していただけますか。
- 家族と疎遠で成年後見制度をご利用になっていた方が急死、唯一の法定相続人の姪が相続放棄し、後見人さんも死後の財産管理はできないとのことで、サービス利用料の支払いがされないことがありました。このような場合よい対応方法はございますか。
- 実際に関わっている事例、感想、先生に依頼するにはどこを通せばいいのか?教えていただければと思いました。

- 成年後見制度については、入口に係ることが多く（ケアマネとして）後見人の「なぜ」出来ないのかということもわかっていたところですが、今回は井上先生からつながる話で理解が出来ました。身元保証団体についても何人か依頼したことはあり、なくてはならないものの反面、危うさもあると知ったので良かったです。成年後見と保証団体の利用についてもやや一部晴れました。わかりやすい講義で、仲間にも聞いてほしい内容でした。
- 法律を勉強しておかないと知らないうちに法を犯してしまいそう。
- 感想：自分の職場は障害者施設であるが、身寄りのない方がたくさんいる。基本的には成年後見制度を正しく活用して、支援の透明性を保ちながら、利用者の個々の抱えている課題を解決していくのが、ご本人にとって「役に立つ」支援なのだと感じた。
- 井上先生の人権という根幹をなすお話と板橋先生のお話とが、全体を通してバランスが良かったように感じた。

【I-4-2 各団体からの実践報告についてのご感想・ご質問等をご記入ください】

- ◆ 素晴らしい
- ◆ 事例だと具体的でわかりやすかった。
- ◆ うまくいかなかった事例も聞いてみたいと思った
- ◆ 参考になりました
- ◆ 上手くいかなかった事例などがあれば聞きたかったです。
- ◆ 身近な問題が多く大変参考になりました。
- ◆ 現場で悩める課題の対応について聞かせて頂くことができ、勉強になりました。
- ◆ 時間が押してしまった為、駆け足になっていた。実践報告の方をもう少し長めに出来れば良かったのではないかと思います。
- ◆ 他職種連携が大切だと改めて感じ、とても勉強になりました。
- ◆ 時間が短くなってしまったのは残念でしたが、事例を通して専門職として整理し関係機関をつなぐことの重要性が再確認できました。
- ◆ 後見人の手続き期間は支援の身動きがとれない状況の中、地域包括支援センタの動きが活発な所だと助かると感じました。
- ◆ 多職種との連携が大切、と感じました。
- ◆ それぞれの実践報告を聞いて、その病院内などだけで対応しようとせず、連携しながらチームとして関わっていくことの必要性を感じました。
- ◆ 3団体の実践報告は、興味深く拝聴しました。
- ◆ 実践報告、事例発表の傾向ですが成功事例が多く、それもたまたま個人のカヤスキル、ネットワークであったりします。ソーシャルアクションを起こす意味でも、ズルズルと放置、たらい回し、ダメダメだった事例もいいと思います。
- ◆ ベースが同じでも特徴の違いがあらためて理解できました。勉強する機会になります。
- ◆ 実践例は具体的でとてもわかりやすかったです。
- ◆ 皆さん現場で頑張っているなあと感じました。
- ◆ “感想です。どの実践報告も、資料や説明がとても見やすくわかりやすかったです。
- ◆ ケースによってクライアントの身体の状態の違い、周辺環境や資源の違い、身元保証人についての法的理解や捉え方の違いといった様々な相違点があるからこそ、身元保証人やクライアントの問題解決に対してワーカーの皆様の中でうまくいく・いかないがはっきりとしていくのだとわかり、実践してきた皆様の苦労や実践の難しさが伝わりました。”
- ◆ みなさんの実践報告をうかがい、身寄り、判断能力、経済的困難の有無と、それぞれの生活課題、現在それぞれに対応可能な社会資源の有無を整理し、何を社会的に補っていくべきなのかを整理する必要があると感じました。
- ◆ 具体的なお話で大変参考になりました。
- ◆ いろんな実践報告があり、参考になりました。ありがとうございました。
- ◆ 分かりやすくなるためになり、聞かせていただいて良かったです
- ◆ 皆さんありがとうございました。特に県立精神の方による報告は考えさせられる内容

でした。

- ◆ 時間が押してしまい、もう少し詳しく報告内容を聞きたかった。
- ◆ 沢山の方と連携を取ることが大事だと思いました。
- ◆ 具体的で自身についても置き換えて受講することができました。
- ◆ 板橋先生が仰っていたように、上手くいかなかった事例で、アドバイスや別視点を頂くのも非常に参考になったかと思います。次回はそのような形式もあれば、有難いです
- ◆ 過去にあった事例だったので聞きやすかった。
- ◆ 同様に皆さんも悩まれながら、そして連携を図りながらやっていると思うと、自分のことと照らし合わせ、安心したり、もっとしっかりしなければという思いと両方でした。すべてが同時に進行するので大変な労力が必要だと思っておりますので連携は大切と思いました。
- ◆ 当院と同様のことを試行錯誤して行っていることが分かってほっとした。
- ◆ 感想：職域の範囲の中だけで仕事をしてはは解決できないことは多い。関わる人たちが少しずつ「はみ出して協力する」ことで事態が動くということを感じた。
- ◆ 時間的な猶予が無かったため仕方ないが、今少し井上先生・板橋先生からのコメントを聞きたかった。

【Ⅱ-2 身元保証問題に関する課題や悩みなどがありましたら、ご記入ください】

- なかなかはかどらない
- 支援者がいない時の医療の判断。
- 判断能力のある身寄りのいない方の対応について
- 入院・入所時に
- この問題が難しく時間が掛かると思われることが後見人業務に携われない大きな原因であるため制度的な解決ができれば良いと思っている。
- アパートへの移行に際して、保証人が存在しないための苦労がある
- 身元保証団体の不透明さと行政の身元保証団体への丸投げと個々SWのスキルの課題
- まだ相談員としての経験も少なく、もし自分のケースであった場合に不安です。
- 身元保証問題が生じた方の認知機能が低下した際に、本人の意思決定よりも医療者側の方針決定が優先されてしまうことがある。
- 身元保証人を受けてくださる団体が少ないこと
- 医療同意・保証人欄への署名について、特に借家の保証人では、苦労しています。
- 家族はいるが関わりを持たない方、また本人が悩んでなくて周りが心配したり何とかしなくてはと言うようなケースが難しいと思っています。
- 身寄りの方がいない方やご高齢のご夫婦、親族がいるが精神疾患を持っているなどで対応に困ることが多いです。
- 保証団体の関りについて対応自体は早いが権利についての根本的な理解や倫理観の欠如を感じる場合があります。
- 結局のところ生活保護の人はワーカーさんがついているので何とかできることが多いが、そのほかの身寄りのない方への対応をだれに頼めば良いのかわからない。
- 安易に民間の団体を紹介したことがあります。報告を聞き、職場で対応を改めます。
- 外人技能実習生の解雇後の身元保証人というのが最近あり、遠い親戚に対応してもらいました。また、子どもなしの近場の身寄りがいない中の緊急連絡先が友人や地域包括支援センターはあくまで高齢者の対応？で、40代50代の世代の身寄りなし生保になれない場合はどこに相談していいかと感じました。
- ケアマネです。利用者が退院時、病院が斡旋した保証人が知らないうちについていた。次の入院の時には入院がスムーズにできましたが、入院時の保証人欄への記入の時にしか現れないし、記入しかない。料金の発生は一切なし、死後に全て本人の財産を引き上げるのが目的なのか、心配。
- 認知症ではないが身寄りがない方の入院、手術などの身元引受人。理解、判断能力があるような、ないような高齢者や精神や知的の疑いがある息子や娘の合理的判断の支援や意思決定支援。通帳を預けることに抵抗があり日常生活支援事業を使えない高齢者、精神、知的障害者。
- どのようにすれば良いかある程度わかりますが、業務に追われ時間がなく、システム作りに時間がかかり中途半端な体制のまま対応しています。
- 成年後見人及び任意後見人の方との連携の方法など

- 本人が入院や入所を希望しても本人の同意だけでは出来ないところが多い。支払いや亡くなった場合を考えての対応と理解はしているが、急を要する場合もあるので「身元保証人がいなければならない」というのは、本人が不利益を被ってしまうケースは多いのではないかと。
- 転院受け入れ先が身元保証がないと受け入れないとか受け入れに渋り、転院後は身元保証会社を付けます、ということに疑問をもっていたが今後そのようなことがあった場合には法的に責任がとれますか？と言いたいと思います。
- 成年後見の手続きの費用に関して、市長申し立ての対象にならない場合、司法書士事務所等で手続き代行費用の問題があり、やはり成年後見制度は繋ぐのをためらってしまう。現状身元保証団体へ繋ぐことがほとんどとなっているが、その身元保証団体も数が少なく選択肢がない。
- 緊急連絡の確保、医療費の支払い等病院が求めることへの対応
- セルフケアができない身寄りのない方、早急に対応すべき状態にあると感じる方について、行政に相談しても、放置されてしまっていると感じることがあります。自治体の責任ある対応をどのように引き出すかも私たちに必要な力量だと感じていますが、どのように動けばよいか悩みます。この機会に、県内の弁護士さんの力を借りて、相談できる場を作れたらいいなと感じました
- 家族がいない場合や家族不在が多いくください
- 感想で記入しました。
- 板橋先生の話聞き、今後どうしたら良いかわからなくなりました。
- 生活保護で無い身寄りの無い方の施設入所や契約等、全てスムーズにいかない事が多いので困っています。
- 入院時に身寄りもなく患者の同意をとれない状態での医療同意。
- 市長申し立てに時間がかかる
- 関係部署に相談できる体制があります
- 後見対応がもう少しスピード感を持って実施してもらえると、市長申し立ての件数を増やすための行政側の判断と実行力、市民後見制度の普及とまちづくり視点など課題山積だと思います。後見を担う法人を増やすための行政的な後押しが必須だし、そういうアクションをまさに井上先生おっしゃるように変革していく SW でありたいと思う。
- 現在はありません。
- 今後後増えると思うが、市町村が向き合おうとしないこと
- 市長申し立てに時間がかかる
- 家族がおらず認知症で自分で申請できない人を後見人制度につなげるのが大変
- 入院や、介護サービス利用時等に受け入れ拒否等から、選択の制限が出来てしまう事がある
- 本人や家族が成年後見制度の申請を進めたいと考えても、主治医の理解が得られない事がある。
- 身寄りのない方は亡くなった後、葬儀や埋葬まで面倒をみてくださるので、民間の身元

保証サービスや金銭管理サービスをお願いすることが多いのですが、お金の管理がずさんだったり、連絡の取りずらさが問題になることがあります。

- 板橋先生や井上先生がおっしゃっていたように、家族と縁がうすい方も人権が守られる仕組みが必要だと強く思います。
- 身元保証人が親族を含めてだけもない場合、家庭簡易裁判所への関わり方など教えてもらいたい。
- 身内がいても「関係ない」と縁を切られている。成年後見等につなぐ際の本人の理解と意思の確認の難しさ。最終的に「良かったのか？」と思うところ。その時は気が付かないことがあります。
- 身寄りのない人を引き受けない病院、施設があるので引き受けるところに集中する
- 何も身に付けずに搬送されてくる患者の身元保証人を探すのが困難。
- 行政など社会的信用のあるところで、気軽に相談できる窓口があると良い。後見人は手続きに半年かかった事があり、ハードルが高い。
- 実際に両親や親族がいても利用契約等にかかわっていただけないケース
- 高齢で身寄りがなく、身元保証人がいない方について成年後見制度の利用すること自体のハードルが非常に高い。特に認知症や精神疾患を発症している方について、市町村長による申立を検討してみるが、自治体との連携が難しく困難が多い。また、後見人では出来ない内容の医療同意や死後事務に関しても課題が多く、民間の団体等があるが、それぞれの団体がきちんとした組織なのか判断が難しい。
- 入院時に身元保証人と言われます。家族・親族との関わりがない方など増えてきているように感じます。板橋先生の話の中であつたように、NPOに頼らず新しいシステムが構築される事を願っています。
- 身元保証に課題のある患者さんのお看取りに関する援助をしばしば行うことがある。目の前の患者さんのQOLをなるべく保つところで精一杯になってしまい、亡くなった後に登場するかもしれない親族に対する配慮や、訴訟やトラブル対応まで援助が追い付かずにお看取りになってしまうことが多くあるように感じる。

【IV ご意見・ご感想などをご自由にご記入ください。】

- ✚ 参考になりました。ありがとうございました。
- ✚ 良いテーマだった。井上先生も言っていたが、上手くいかなかった事例の提示をしてほしかった。
- ✚ 貴重なお話をたくさん伺い参考になりました。改めて考えることができました。
- ✚ 初めて参加したが勉強になった
- ✚ 今後も参加したいと思いました。
- ✚ 実行委員の皆さま、大変お世話になりました。
- ✚ 初めて参加させていただきましたが、とても貴重な講義を聞くことができてよかったです。
- ✚ いろいろな関係の方側からのお話を聞く事が出来て大変参考になりました。
- ✚ 大変勉強になりました。全体的に聞きやすくわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ✚ ありません
- ✚ とても勉強になりました。参加させて頂きありがとうございました。
- ✚ 各団体の実行委員の皆様お疲れ様でした。今回の参加人数の多さはぜひ次回へ引継ぎ今後も専門職間で連携をとれる関係づくりの場としての活性化を望みます。
- ✚ 今回のテーマは、疑問を抱えている事とマッチングしたので大変参考になりました。
- ✚ 貴重な講演をしていただき勉強になりました。
- ✚ オンラインの場合は1時間に1回は休憩を入れるのが必要かと思います。2時間以上ぶっ通しは正直しんどかった。
- ✚ 会場に行くより気軽に参加でき、内容も深い研修が受けられました。ありがとうございました。
- ✚ まだ勉強中である身ですが、今回の講習会に参加できたことで、様々な学びがありました。ありがとうございました。
- ✚ 来年もこのテーマでお願いしたいです。ぜひお願いいたします。専門職も関係機関も地域住民もそして行政も共通した課題と考えます。
- ✚ 会場参加ですと参加者がそれほど多くなかった印象があります。今後も可能でしたらハイブリッドでの運営を希望します。今回は協力できませんでしたが、業務の体制や状態が良くなりましたらご協力させてください。本日は勉強させていただきありがとうございました。
- ✚ 本人の最善の利益をめざす貴重な研修会をありがとうございました。
- ✚ 身元保証問題にあたる可能性が十分にある職場なので、解決の糸口がないかと参加した。しかし、「身元保証人はよくない」「制度を整えるべき」という問題提起の印象が強かった。身元保証サービス事業所にアンケートを実施したと仰っていたので、そういった事業所からも、サービス内容、事例、抱えている問題などのお話を聞きたいと感じた。
- ✚ 実行員の皆様、お疲れ様でした。
- ✚ 全体としましては、実際に働く皆様からの声による貴重な勉強ができる機会として、と

でも満足できました。この度は、ソーシャルワーカーを目指す学生の身として参加させていただきましたが、専門職の皆様と共にソーシャルワークや社会全体における問題について学び、共に考えていくことができたことを嬉しく思い、参加する意義を感じられました。

- ✚ 今までは介護職だったので、権利擁護など SW の研修に参加してきませんでした。今、SW として仕事をし、知識を増やしているところなので、今回の研修がオンラインで受けられてとてもよかったです。今後も SW としての役立つ情報や考え方など学べる機会があれば積極的に参加したいです。ありがとうございました。
- ✚ 3 団体が協力して行う勉強会は必要。いつか 3 団体が 1 団体になれば良い思う。
- ✚ 時間の関係で難しいとは思いますが、できればディスカッションができるとういなと感じました。シリーズ化して、ディスカッションメインの企画をやるのも良いかと思いました。
- ✚ このような研修があればまた参加させて頂きたいと思いました。ありがとうございました。
- ✚ とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ✚ 次回もぜひ
- ✚ SW として、日々、退院支援に携わる上で、患者様の権利擁護について、改めて学び、活かしていきたいと思った
- ✚ 身元保証の件でどうすればよいか日々悩んでいた中でとても貴重な研修でした。今後の支援に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。
- ✚ 初めて参加させていただき、大変勉強になりました。また来年も参加させていただきたいので、よろしく願いいたします。
- ✚ 初めて参加しましたが、実際に現場で働く SW による事例報告でより理解を深めることができました。次回も参加したいと思いました。
- ✚ 素晴らしい企画、ありがとうございます。参加できてラッキーでした。ケアマネ仲間にも聞かせたいです。
- ✚ 実行委員会に感謝します。
- ✚ 準備等大変でしょうが、またこのような研修を開催していただけるとありがたいです。
- ✚ 身寄りのない方の支援 Part2 を企画してほしい。
- ✚ 大変興味深い研修をありがとうございました。大変な準備作業をありがとうございました。
- ✚ 研修に参加させていただき、皆さん、ご苦労されていると感じると共に、スムーズな支援のために、様々な専門職との連携をさらに意識していきたいと感じている。コロナ禍の大変な時期に、研修機会を作っていただき、有り難うございました
- ✚ 昨年、今年度と身元保証についての講義は重なって多いように感じます。それが現在の社会として、またソーシャルワーカーとしての取り組むべき課題だとは受け取れますし、その必要性を大いに感じるわけですが、各団体では今後の各研修会のテーマ設定上で必要であると感じました。

- ✚ 有意義な時間ありがとうございました。社会を変えていくために具体的に何をしたらいいかわからないので、先導者となって導いていただきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。
- ✚ 企画運営の皆様、お疲れ様でした。遠方でしたが、オンラインということで参加できました。今後、また会場での開催が可能となったとしても、配信も含めて開催を検討して頂けるととても参加しやすくなるかと思います。
- ✚ 身元保証問題に関心があり、参加させていただきました。高度な研修でしたが、ソーシャルワーカーさんの大変さが解ました。自分達業務もソーシャルワーカーとの関わりが多いので連携を取り業務を続けていきたいと思います。
- ✚ 団体にいながらその職種として仕事をしていないので、様々な議題を扱ってもらえると勉強になり、視野が広がるので期待しています。(いつも研修や総会がいろんな団体と重なって参加できないことが多いですが・・・)
- ✚ 今後もオンライン研修を取り入れてほしい。
- ✚ 身元保証について、参考になり今後の支援に生かしたいです。
- ✚ 感想：参加してよかった。個々のソーシャルワーカーの能力や人脈で課題解決の結果が全く違ってくるといことは日々実感していて、個々のワーカーの「職人技」に依存するのではなく、課題解決のしくみを作っていくことがとても大切だということがわかった。
- ✚ 現場で働かれてる方々は模索しながら様々な課題に対応していることが講義を聞いて感じました。実習に行く前に参加することができ、貴重な機会でした。ありがとうございました。
- ✚ 有意義な研修をありがとうございました。
- ✚ コロナ禍で大変な中、企画運営をありがとうございました。
- ✚ 今後もズーム等で開催していただくと参加しやすいです。